



特集

# 道元禅師ものがたり最終回

## 生を受けた京都の地で

## 五十二年の生涯を終えられました



### 最後の力を振り絞り

建長五年（一二五三）八月五日に永平寺を出発した道元禅師は、十日かけて京都に着き、現在の西本願寺の東にあった覚念の屋敷に入られます。すぐに医師からの手厚い治療を受けましたが、病状がよくなる兆しさえ見られませんでした。

身なりを整えられました。部屋の中をゆつくりと歩きながら、低い声で「法華経」の一節を唱えられました。そして、寂円に墨と筆を用意させ、その経文を柱に書き付けて、その部屋を「妙法蓮華経庵」と名付けられました。「たとえどこにいても諸仏を供養しなさい。どこにいてもそこが修行の場であり、涅槃の場でもあるのだから」。これが道元禅師が最後の力を振り絞って唱えられた経文の内容でした。

No. 54  
2018 Summer

山松舎  
臨南寺

### 遺偈を書き上げると同時に

翌二十八日、まだ夜も明けきらぬ頃、死期を悟られた道元禅師は、懷装と寂円に見守られながら、遺偈を書き上げられました。書き上げると同時に、筆を投げ捨てるように入滅されたのです。

五十四年、第一天を照らす  
筒の勃跳を打して、大千を触破す  
唼

渾身もとむるなく、活きながら黄泉に落つ

（私はひたすら仏法を求めてきた。

迷いの世界を打ち破り、正伝の仏法とめぐりあった。

ああ。

もう何も求めることはない。仏法とともにあの世に行こう）

### 懷装に抱かれて

入滅された禅師のご遺体は、いったん天神中の草庵に運ばれました。その後、東山赤辻の寺に移され、茶毘にふされました。そこは京の火葬場「鳥辺野」の一つで、現在の円山公園の南、西行庵裏と言われています。

遺骨は懷装に抱かれて、九月六日に京を発ち、十日に永平寺に到着しました。十二日に入涅槃の儀式が執り行われ、永平寺の西の隅に塔を建てて安置されました。そこは今「承陽殿」と呼ばれています。のちに道元禅師は、江戸末期の孝明天皇から「仏性伝灯国師」の名を贈られ、明治になって「承陽大師」の号を受けています。

道元禅師亡き後、永平寺は懷装、義介に受け継がれていきます。義介が育てた瑩山禅師は總持寺を開き、多くの弟子を育て、教えを全国に広めていきました。道元禅師の願いは、瑩山禅師によって大きく花開いていったのです。



むかひ火や 父のおもかげ 母の顔 加舎白雄

# 八月はお盆、

# 九月はお彼岸の季節です



臨南寺のお盆行持は、お墓経(八月十日、十二日)から始まります。十二日は、「弁財天万灯会」も催します。ご先祖様や亡き人へのご供養とともに、皆様の願い事を書き入れて、弁天様に献灯いたします。しょう。

十六日には、盂蘭盆会施食会を修行いたします。亡き人やご先祖様など各家にゆかりの精霊をご回向させていただきますので、ご家族そろってお参りください。

九月はお彼岸です。

九月二十六日は本堂にて彼岸会施食会の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝し、自らを振



8月12日、弁天様への献灯が揺れる本堂前

り返る大切な期間です。ご先祖様をしのび、ご家族の幸せに感謝いたします。ぜひ、ご家族そろってお参りください。ご都合が悪い方は、いずれの行持も不参にてお受けしますので、お問い合わせください。

## 寺南景 百景



### 地蔵菩薩様と

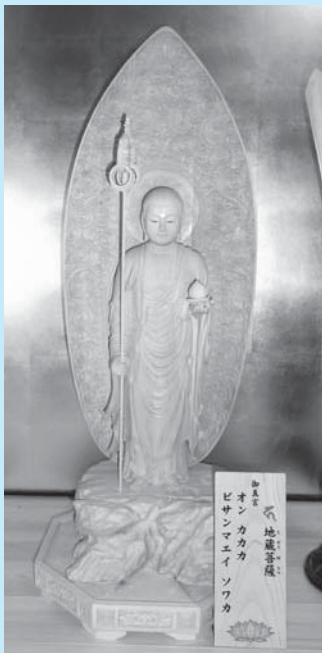
### 不動明王様

地蔵菩薩様も不動明王様も、二年前に完成した客殿「圓通閣」におまつりされている十二面観世音菩薩様の脇侍です。

福島県会津美里

町にある弘安寺は大澤住職の実家で、ご本尊は十二面観世音菩薩様。「中田観音」と呼ばれ、安産とピンコロリの霊験で信仰を集めています。

七百四十年前に会津の富豪が、若くして亡くなった一人娘の菩提を弔う



子供たちの守り神、地蔵菩薩様



私たちの煩惱を焼き尽くす不動明王様



圓通閣の十一面観世音菩薩様と脇侍のため姿に似せて造ったと伝えられています。圓通閣の十二面観世音菩薩様も脇侍も、弘安寺の十二面観音と脇侍のお姿を写したものです。一般的に十二面観音の脇侍は毘沙門天と不動明王とされていますが、「子供の守り神」であるお地蔵様を脇侍に選んだ、その親心が私たちにも伝わってきます。

住職  
日誌

# 和顔愛語

「今年は去年より暑くなるらしい」

近年は夏が近づくと耳にするフレーズです。

地球が病んでいるのか、昔と比べると随分気候が変わった気がします。地球に限らず、人間

も病んでいるのでしょうか。最近はいたましい事件、事故、耳を覆いたくなるようなニュースが飛び交っています。

幼い子を親が殺すような事件も後を絶ちません。とても悲しいことです。

禅の言葉に「和顔愛語」というものがあります。簡単に申しますと、「和顔…やさしい顔」で

「愛語…優しい言葉」をかけましょうと説いています。



臨南寺 住職 大澤正道

優しい顔で優しい言葉をかけられたら、誰しもがうれしくなるのではないのでしょうか。

しかし、愛していればこそ、子供が間違いを起こせば注意します。時には厳しい言葉をかけることもあるでしょう。それもまた「愛語」なのだと思います。

私たち一人ひとりが「和顔愛語」を日々実践できれば、素敵

なニュースも増えるのではないかと日々願っています。

## 臨南寺行持予定

### 八月

○ **お墓経** はかせぎょう  
\*八月十日 午前十時～正午  
\*八月十二日 午後五時～八時半

お盆のお墓経を行います。どちらかご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。回向料二万円

○ **弁財天万灯会(本堂)**  
\*八月十二日 午後六時～八時半

ご祈禱は、一回目 午後六時半～ 二回目 午後八時～  
あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をし、福を授かりましょう。お盆の迎え火としてもご献灯いただけます。  
どなたでもご参加いただけます。祈禱料(献灯料)三千元

○ **孟蘭盆会施食会(本堂)**  
\*八月十六日 午前九時～十二時半

お盆供養の法要を行います。各家のご先祖様とご縁の深い精霊のご供養をいたしましょう。どなたでもご参加いただけます。回向料二万円

### 九月

○ **お墓経** はかせぎょう  
\*九月二十三日 午前十時～午後三時  
\*九月二十四日 午前十時～午後三時

どちらかご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。回向料二万円

○ **彼岸会施食会(本堂)**  
ひがなえせしえ  
\*九月二十六日 午後一時～二時半

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間です。ご先祖様をしのび今あることに感謝いたしましょう。  
どなたでもご参加いただけます。回向料二万円

## お気軽にご参加ください

### 早朝坐禅会

毎月第一土曜日(一月、八月は無し)午前六時半～ 本堂にて

### 写経会

毎月二十日(八月は無し)午前十時～午後三時 写経料・千円

\*いずれも急ぎよ中止になる場合がありますので、前日に確認してください。

## 春のマトリ合同法要

### ご存知ですか? 「無財の七施」

さわやかに気持ちよく晴れた五月二十日(日)、午後一時からがっしょう園マトリの合同法要が営まれました。

法話は山形県新庄市の福田院ご住職の長峰広道老師。昨年春に続き、心あたたまるいいお話でした。

「道元禪師がおっしゃっています。『人間には本来仏になる素質が備わっているが、修行しなければそれはあらわれない』と。

『無財の七施』という言葉があります。

笑顔を絶やさないと和顔施、優しいまなざしの慈眼施、優しい言葉をかける愛語施、体を使うことを進んでやる捨身施、ともに喜びとともに悲しむ心慮施、席を気持ちよく譲る床座施、来客を温かくもてなす房舎施。この七つです。

布施も修行の一つです。他人を我が身として日々を過ごす、そこに悟りがあります」

お金を使わなくても、心がけ一つで、周囲を幸せにし、自分も幸せに毎日を送ることがができる。そんなお話でした。

法話を聞いたあとはマトリに移り、読経の中ご焼香していただきました。



一つひとつ心に残る長峰広道老師の法話



## 墓苑をご利用の皆様へ

- 手桶を花立て代わりに使わないでください。ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
  - お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。
  - ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
  - お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。
- 
- トイレにはトイレットペーパー以外は流さないでください。ティッシュペーパーは水に溶けません。ウエットティッシュや紙オムツも絶対流さないでください。

### 編集後記

上にご紹介した長峰老師の法話にこんな話もありました。「きょういく」「きょうよう」のある人はボケないということです。これはいわゆる「教育」「教養」ではなく、「今日行くところ」「今日用事のある」人のこと。皆さん、毎日用事を作りましょう!(M)

## この道は、 自転車もご利用ください

この歩道は、徒歩の方や車椅子の方だけでなく、自転車の方もご利用いただけます。昨年、当寺院の境内地で数件の人身事故が発生しました。境内では最徐行でお願いします。

改善される様子が見られなければ、車両の乗り入れを禁止いたします。

なお、境内地内での事故等につきましては、当寺院では一切の責任を負いません。



「ほ〜っと」54号

平成30年7月

編集・発行：稜伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com